

今日のキーワード 財新の「PMI」(中国)

「PMI」とは、購買担当者景気指数 (Purchasing Manager's Index) の略で、景況感を判断する基準の一つとして毎月発表される経済指標です。景気判断について50を上回れば拡大、下回れば縮小を示します。中国メディアの財新は、アンケート調査から財新「PMI」を算出し、公表しています。中国国家统计局が発表する「PMI」に比べて、調査対象に占める中小企業の比率が高く、景気動向を敏感に表すとされます。

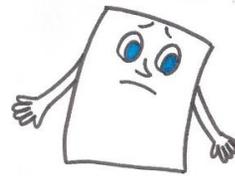
ポイント1 財新の製造業「PMI」は48.6 16カ月連続で50割れ

- 中国メディアの財新と英金融情報会社マークイットが7月1日発表した中国の6月製造業「PMI」は48.6となり、前月から0.6ポイント低下しました。景気判断の境目となる50を16カ月連続で下回り、2月(48.0)以来4カ月ぶりの低水準となりました。
- 7月5日に発表された、財新の6月サービス業「PMI」は52.7となり、前月から1.5ポイント上昇しました。昨年7月以来の高水準でした。製造業の低調さと対照的に、非製造業の景況感は50超が続いています。

ポイント2 政府版の「PMI」は50.0 4カ月連続で50台を維持

- 一方、中国国家统计局が発表した6月の製造業「PMI」は50.0となり、前月から0.1ポイント低下しました。景気判断の節目となる50台乗せは4カ月連続となりました。
- 6月の非製造業「PMI」は53.7と、前月から0.6ポイント上昇しました。非製造業は、3カ月ぶりの高水準でした。

【中国のPMI】



民間版PMI



政府版PMI

今後の展開 景況感悪化が続けば政策対応も

- 財新「PMI」は、調査対象に中小企業や輸出企業が比較的多く、景気動向をより敏感に反映するといわれます。政府版の「PMI」との差は、大企業に比べて資金調達能力などが劣る製造業中小企業を中心に、景況感の悪化が続いている可能性を示唆しています。
- 中国では、民間固定資産投資が5月に急減するなど、足元の景気は勢いを欠いています。今後も製造業の「PMI」の低下が継続するようであれば、中国政府が再び拡張的な政策に転じる可能性があり、景気の大きな下振れは回避される見通しです。

ここもチェック!

2016年6月21日 中国の住宅市況 (2016年5月) 上昇持続も、住宅価格は徐々に頭打ちへ
2016年6月14日 最近の指標から見る中国経済 (2016年6月)

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。